

平面線形に関する  
調査表記入マニュアル

## [C030] 平面線形基本

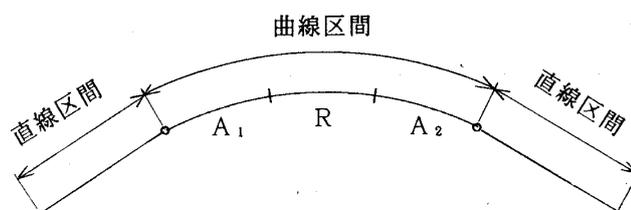
この調査表は、道路の平面線形に関する基本的データを登録するためのものである。

### 1. 一般的注意事項

(1) データは次の単位で作成する。

- 路線毎とする。
- 線形区間毎とする。 注)

注) 線形区間は直線区間と曲線区間に分けて考える。曲線区間についてはクロソイド+R  
+クロソイドを基本に考える。



(2) 平面線形区間の直線的な折れ曲りの箇所については「C031平面線形折曲り箇所」にて作成する。

(3) 路線毎の全延長に渡って作成する。

### 2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3

(N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 百米標自 (km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(Q) 距離自 (m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 百米標至 (km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(S) 距離至 (m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(T) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

(V) 線形区分C

線形区分について、該当するコードを記入する。

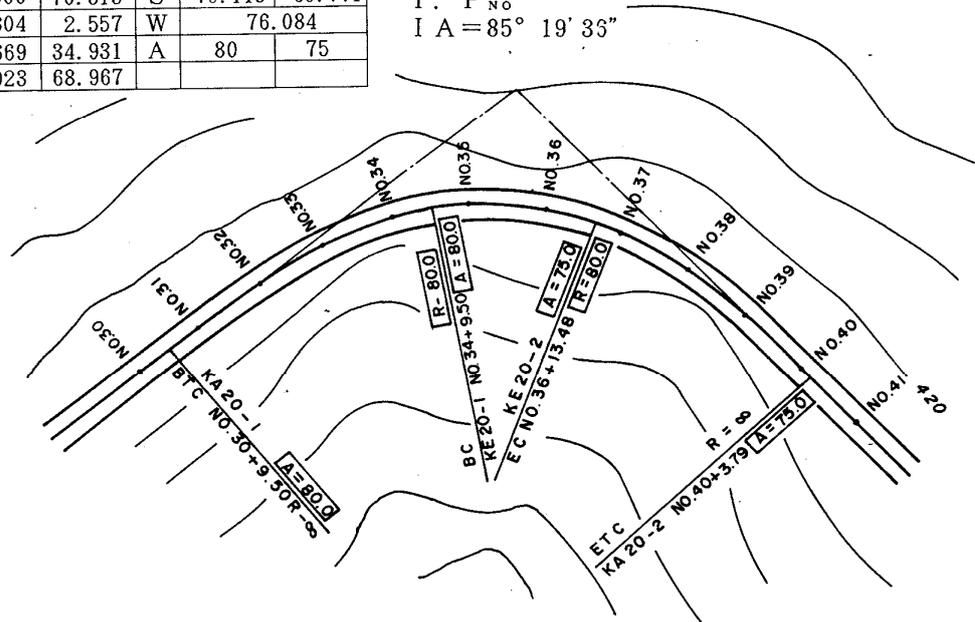
区 分	コード
直線区間	1
曲線区間	2

(X) 区間長 (m)

該当する線形区間の区間延長を、小数点以下3位まで記入する。また、区間長の考え方は次のように考える。

I. P		Y	13.10	10.16
K <sub>No</sub>	20-1	20-2	L <sub>c</sub>	43.980
I A	85° 19' 36"		CL	194.293
R	80.000	80.000	D	115.692   111.761
L	80.000	70.313	S	79.115   69.771
ΔR	3.304	2.557	W	76.084
X <sub>M</sub>	39.669	34.931	A	80   75
X	78.023	68.967		

I. P<sub>No</sub>  
I A = 85° 19' 36"



- 単曲線区間の場合、(B. C) から (E. C) 間
- クロソイド区間の場合、(B. T. C) から (E. T. C) 間
- 直線区間の場合、直前の曲線区間の終点と直後の曲線区間の始点の間

(Y) 始点側クロソイド (m) (A<sub>1</sub>)

該当する区間にクロソイド曲線が含まれる場合、始点側のクロソイド曲線のパラメータ A<sub>1</sub> を小数点以下 1 位まで記入する。該当しない場合は「\*」を記入する。

(Z) 曲線半径 (m) (R)

該当する区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径 (R) を小数点以下 1 位まで記入する。該当しない場合は「\*」を記入する。

(AA) 終点側クロソイド(m) (A<sub>2</sub>)

該当する区間にクロソイド曲線が含まれる場合、終点側のクロソイド曲線のパラメータ A<sub>2</sub> を小数点以下 1 位まで記入する。該当しない場合は「\*」を記入する。

(AB) 曲り区分 C

起点側から終点側に向かって見た場合の曲り方向について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
左 曲 り	1
右 曲 り	2

注)

注) 「左曲り」とは、道路の起点より終点に向けて見た場合左方向に曲がっている状態をいう。

(AD) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AE) 市区町村自C

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合      ——>      コード：08401  
(検査数字は含まない)

(AG) 市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合      ——>      コード：08403  
(検査数字は含まない)

## 〔C031〕 平面線形折曲り箇所

この調査表は、道路の平面線形区間の直線的な折れ曲りに関するデータを登録するためのものである。

### 1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「C030平面線形基本」の作成単位毎とする。
- 折れ曲り箇所毎とする。 注)

注) 折れ曲り箇所は、T字路、十字路、Y字路、V字路の箇所で道路が直線で折れ曲がった部分を対象とする。



### 2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

上記(1)、(2)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(2-1) 工事区分

未記入とする。

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分C

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 曲り区分C

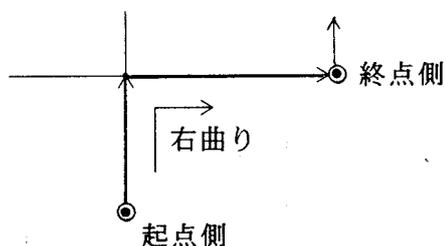
起点側から終点側に向かって見た場合の曲り方向について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
左 曲 り	1
右 曲 り	2

注)

注) 「左曲り」とは、道路の起点より終点に向いて見た場合左方向に曲がっている状態をいう。

(直線部の曲りの場合)



(R-1) 曲り区分

曲り区分については以下の通り記入する。

- ・既存データを貸与されている場合は既存データに記載されている値を、記入する。
- ・既存データを貸与されていない場合は、未記入とする。

(T) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

# 道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

C030：平面線形基本

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	999	m	○	○
上り下り区分C	半角1文字		○	○
線形区分C	半角1文字		○	○
区間長	9999.999	m	○	○
始点側クロソイド	9999.9	m	○	○
曲線半径	9999.9	m	○	○
終点側クロソイド	9999.9	m	○	○
曲り区分C	半角1文字		○	○
備考	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

# 道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

C031：平面線形折曲り箇所

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
工事区分	全角2文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
曲り区分C	半角1文字			○
曲り区分	全角3文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照